

# 遥かなるブリテンの調べ

イギリス音楽二百年

古楽アンサンブル  
ムジカ・レセルヴァータ

リコーダー  
フラウト・トラヴェルソ

バロック・ヴァイオリン

ヴィオラ・ダ・ガンバ

チェンバロ

国枝俊太郎

小野萬里

高橋弘治

岡田龍之介

2026年

4/6月

開演 14:00 開場 13:30

◎ 会場

今井館聖書講堂

東京都文京区本駒込 6-11-15

◎ 入場料

前売り 4,200円 当日 4,500円

ペアチケット 8,000円 (要予約)

\*チケットの発券はありません。

◎ お問い合わせ

東京古典楽器センター

Tel: 03-3952-5515

ムジカ・レセルヴァータ事務局

Tel/Fax: 042-478-3886 (岡田)

E-mail: [jh\\_1732@a.toshima.ne.jp](mailto:jh_1732@a.toshima.ne.jp)

(国枝)

◎ プログラム

T. シンプソン

リチェルカーレ「愛しのロビン」

M. ロック

ブローケン・コンソート第2部

組曲 第2番 ニ長調 - ニ短調

G.F. ヘンデル

トリオ・ソナタ ト短調 第5番 作品2

C.F. アーベル

トリオ・ソナタ ト長調 K106

ほか

## 国枝俊太郎

リコーダー、フラウト・トラヴェルソ

リコーダーを安井敬、フラウト・トラヴェルソを故中村忠の各氏に師事。2018年開催の「東京・春・音楽祭」において、ロシアの世界的ピアニスト、コンスタンチン・リフシツ氏と共演する。現在はバロック室内楽を中心に幅広く活動している。バロックアンサンブル「クラングレーデ」メンバー。

## 小野万里

バロック・ヴァイオリン

東京藝術大学卒業。在学中バロック・ヴァイオリンに出会い研究を始める。1973年ベルギーに渡りシギスヴァルト・クイケンに師事。帰国後は室内楽奏者、東京バッハ・モーツァルト・オーケストラ、バッハ・コレギウム・ジャパンなどで絶え間なく活動してきた。弦楽器の集まり sonorecordi を指導している。

## 高橋弘治

ヴィオラ・ダ・ガンバ

桐朋学園大学卒業、ブリュッセル王立音楽院修了。在学中「ラ・プティット・バンド」メンバーとして活動。帰国後はソロ、室内楽、オーケストラで活動する。「J.S.バッハ 無伴奏チェロ組曲」全曲演奏会を各地で開催。2025年秋にはソウルで「イル・ガルデリーノ」とJ.S.バッハ「音楽の捧げ物 BWV1079」を共演。海外のアーティストとも共演を重ねている。近年ではヴィオラ・ダ・ガンバの演奏にも取り組み、通奏低音奏者としての可能性を拓いている。

## 岡田龍之介

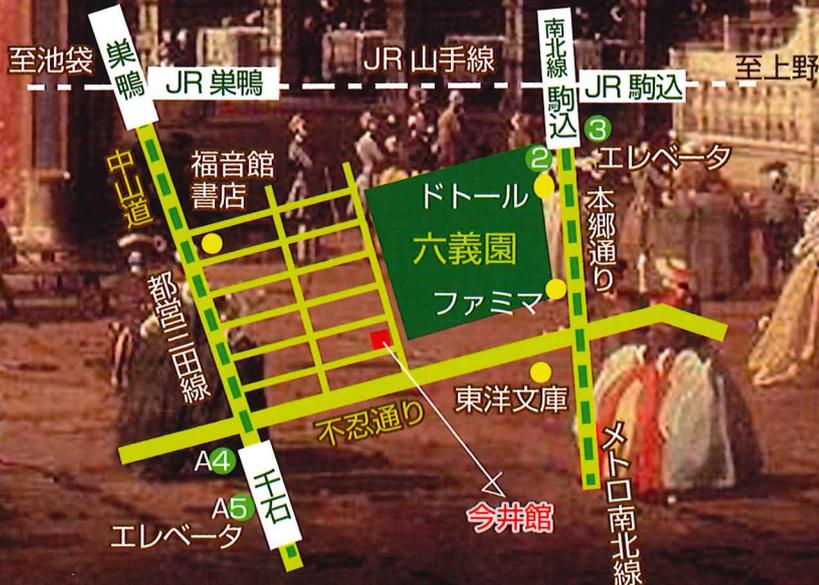
チェンバロ

東京藝術大学卒、同大学院修了。チェンバロを有田千代子氏に師事。国内外のバロック奏者との共演を通じてアンサンブル経験を深める。第13回、第23回山梨古楽コンクール審査員。洗足学園音楽大学（～2021年）、都留音楽祭（～2017年）各講師。「ムジカ・レセルヴァータ」主宰。日本チェンバロ協会前会長。



## 古楽アンサンブル「ムジカ・レセルヴァータ」

チェンバロ奏者の岡田龍之介により2002年に古楽器オーケストラとして発足。これまでにモーツァルト記念合唱団、磐田古楽協会・磐田バロックコアと定期的に共演を重ね、2025年11月には磐田古楽協会・磐田バロックコア第32回公演にてJ.S.バッハ「ロ短調ミサ曲」BWV 232を演奏し好評を博した。一方、2011年からは国枝、小野、高橋、岡田の4人によるアンサンブルとしての活動も開始。東京、横浜、栃木の定期公演を軸に全国各地で演奏活動を展開している。これまでに『プロイセンの宮廷音楽～サンスーシ宮殿 フリードリヒ大王の居室にて～』（コジマ録音）、『テレマンパリカルテット』Vol.1&Vol.2（Via Galleria）3枚のCDをリリース。緻密なアンサンブルと古楽器ならではの豊かな響きを追求し続けている。



## 今井館聖書講堂

東京都文京区本駒込 6-11-15

◎ アクセス

山手線駒込駅下車 徒歩11分

南北線駒込駅下車 徒歩8分

都営三田線千石駅下車 徒歩5分